

両備ホールディングス 株式会社

「くるみんプラス」認定を取得！

計画期間中の取組の概要

- ・計画期間：平成26年4月1日～平成28年3月31日
- ・業種：交通運輸業
- ・常時雇用する労働者数：男性1,124人、女性966人、計2,090人（令和7年3月現在）
- ・育児休業取得率：男性50%、女性100%

＜取組内容＞

・不妊治療のための休暇制度・短時間勤務制度を新規導入

ヘルスサポートプランとして、不妊治療を含む傷病の治療の支援を目的とした休暇制度・短時間勤務制度を新規に導入した。

・不妊治療の内容や職場での配慮のポイント、社内制度の研修会を実施

全社員を対象とし、「不妊治療と仕事の両立」のポイントについて研修会を開催。不妊治療についての理解を深めるほか、利用できる社内制度や配慮事項について認識することを目的として実施。



「くるみんプラス」認定に向けた取組のきっかけ

ダイバーシティ推進の一環として、これまで子育てと仕事の両立支援施策を充実させてきました。施策の運用を行なっていく中で、両備グループの重要な価値観である「社員の健康と幸せ」の観点から、不妊治療を必要とする社員が、「治療か仕事か」の二者択一ではなく、「治療も仕事も」選択でき、ワークライフバランスをアップデートしながら、安心して働き続けることができる職場風土の醸成を目指して、取り組みを推進しています。認定取得することで、治療と仕事の両立をサポートする制度の充実をはじめ、社員一人ひとりに対して不妊治療に対する理解と共感を高めていき、個人の価値観や会社の期待をふまえた働き方ができる職場環境作りに取り組む姿勢を社内外に示していきたいと考えたことがきっかけです。

認定マークの活用方法

企業ブランディングの向上

- ・学生や就職希望者に対するイメージアップ
- ・顧客に対するイメージアップ
- ・社員に対して、皆でつくった子育てしやすい職場を見える化した“働きやすさの証”を伝えることによるインナーブランディング

これから認定を目指す企業へのエール

制度を整えることはもとより、すべての社員が不妊治療に対する理解を深めていくことにより、当事者が相談しやすい環境を作り、制度が活用しやすい風土の醸成に繋がっていくと考えています。改めて自社の取り組みを振り返り、継続的な啓発活動・情報発信は重要であると感じています。

認定によって、企業イメージの向上に繋がっていくと同時に、認定に向けた取り組みを行なっていくこと自体が、社員の働きやすさ・働き甲斐に対して真摯に考え、検討していくための貴重な機会にもなると思います。

令和7年5月22日（木）に、
岡山労働局で懇談を行いました！

